

[10\_2/3] 図書館情報 : 九州大学附属図書館月報 :  
10(2/3)

<https://doi.org/10.15017/18290>

---

出版情報 : 図書館情報. 10 (2/3), pp.7-12, 1974-02-03. 九州大学附属図書館  
バージョン :  
権利関係 :

## 生物関係同好会誌蒐集の弁

白 水 隆

日本には生物の同好者は多い。ヨーロッパやアメリカでもそうらしいが、日本のように全国各地に同好会、研究会があって、会誌・会報・連絡誌などの印刷物を沢山出しているところは他に例がない。とくに同好者の多いのは植物と昆虫である。数学、物理、化学などの分野では特別の人でない限り、中央から離れた設備のない田舎で新しい事実の発見などはできないが、生物の自然史的分野では自然の豊かな環境に生活し、忍耐強い観察をやれば特別の機械器具がなくてもいくらでも未知の事柄を発見できるのである。アマチュア研究者がファイトをもやす所以であろう。

私のやっているのは昆虫に関する自然史的研究であるが、その同好者の数は全国的にきわめて多く恐らく数万人に達すると思われる。これらの同好者は新しい産地の発見とか、未知の生態観察記録などを競ってこれらの印刷物に発表している。そういうわけでこれらの報告は私どもの研究の重要な資料にもなるわけで、私が力を入れている日本の蝶の自然史の知識の半ばはこれらの熱心な同好者に負うと言ってよい。私は自分の研究のためにこれらの同好会誌を集めることをはじめたのはもう30年以上も前のことになるが、戦後になって意識的に蒐集に力を入れた。それはこういう同好会誌が全国の大学のどこに行っても、また博物館などでもほとんど保存されていないことに気付いたからである。この種の印刷物にはもちろん程度の低い記事も多いが、有益な資料も多く、なかには専門誌に発表されたものよりさらに内容のある勝れた観察記録や研究発表も少くないのである。また固定的な考えにしばられないためにユニークな注目すべき発想なども述べられていることがある。それにこういう印刷物は初めから発行部数も少ないし、大部分が謄写印刷で活版印刷のものは数少なく、体裁も良くない。それらの会員も職業としてやっているわけではないので、当人が死亡したりすると、こういう印刷物は紙屑として始末されて世の中から消え去ることが多いと思われる。私が昭和のはじめに入手した同好会誌など果して何冊が日本に残っているであろうか。比較的新しいものでもこれらを備えている図書館、大学の研究室を私は知らない。

こういう印刷物は一括して日本のどこかに保存し、日本の自然史研究、生物学史研究の資料として後世に残さねばというのが、私が自分の研究資料の範囲をこえて蒐集に力を入れた所以である。年間に私の手許にくるのは数百冊程度であるが、すでに書棚3個に収容できぬ分量になった。この頃ではこのことが学友にも知られるようになって、東京あたりから閲覧を求めて研究室を訪ねられる方もあり、印刷物を寄贈して下さる同好会も多くなって経済的にも大いに助かるようになった。私の死後はこれを大切に保管し、全国の研究者に自由に閲覧させるような公共の施設に引きとってほしいというのが現在の私の念願である。

(しろうず・たかし：教養部教授)

## ◆ 会 議

## 教養部分館運営委員会

教養部分館では、去る2月22日(金)、図書運営委員会が開催された。当日の議題は次の通りである。

1. 学生用指定図書について。  
到着状況、支払状況の報告。未着分に対する予算措置、推せん図書の選定。
2. 分館の新営計画について。
3. 分館図書費の現況について。
4. 複写室オフセット機の更新について。
5. 分館利用規則の改正について。
6. 図書(共通, 一般)の選定。  
(見計品, カタログ等により)

## 理学部図書室運営委員会

理学部では、去る1月22日(火)、図書室運営委員会が開催された。当日の議題は次の通りである。

1. 図書室運営委員会に関する経過報告。
  2. 複写施設の設置について。
  3. 重複雑誌の調整について。
  4. その他
    - a. 大学院学生の長期館外帯出票の様式決定。
    - b. 理学部所蔵・学術雑誌目録・欧文編(1973年版)発刊の件。
- なお、同図書室運営委員会の委員長には、松本達郎(地質)教授が昭和48年12月5日に選出されている。

## 農学部図書室運営委員会

農学部では、去る2月15日(金)、図書室運営委員会が開催された。当日の議題は次の通りである。

1. 複写料金について。
2. 昭和49年度・購入和雑誌の決定について。
3. その他

## 本学教官著作寄贈図書

## &lt;文学部図書室&gt;

- 福 田 良 輔 (文学部名誉教授)  
奈良時代東国方言の研究(福田 良輔著) 昭40 風間書房 ￥4,500
- 今 井 源 衛 (文学部教授)  
源氏物語の研究(今井 源衛著) 昭37 未来社 ￥850
- 田 村 円 澄 (文学部教授)  
日本仏教思想史研究—浄土教編—(田村 円澄著) 昭39 平楽寺書店 ￥1,600
- 荒 木 見 悟 (文学部教授)  
仏教と儒教(荒木 見悟著) 昭41 平楽寺書店 ￥3,000
- 元 田 脩 一 (文学部教授)  
現代米英文学の方法と思潮(元田 脩一著) 昭32 開文社 ￥250  
エデンの探究(元田 脩一著) 昭38 開文社 ￥450

## 資料紹介

## 逐刊欧文二次資料総合目録 1972

(国立大学図書館協議会参考図書の基準調査研究班, 昭和48年3月, 153p. 26cm.)

この目録は“まえがき”に述べてあるとおり、「参考図書資料のうちでも、学術研究に最も密接な関係をもつ逐刊欧文の、いわゆる二次資料（書誌、索引、抄録等）を現時点でリストアップし、併せてその所在を示して共同利用のための道具としようとする意図」と、また同時に「参考図書購入費の予算化要望に関連して、その具体的調査を行なう」意図の下に、上記研究班の名古屋大学附属図書館を主査として編集されたものである。

従来、参考図書の書誌目録や所在目録は、Winchell, C. M. の“Guide to reference books”, 日本の参考図書編集委員会編の“日本の参考図書”などから、毎年文部省で開講される大学図書館職員長期研修のテキストに掲載の書誌リストに到るまでの書誌目録、あるいは、日本私立大学協会参考図書所在目録編纂委員会編の“参考図書所在目録-1968-”など多くみられるが、この目録のように、逐次刊行のものの参考図書で、しかも原則として、現在刊行継続中のもののみを収録したものは珍しい。

本文に所収のタイトル数は、1. General が147点, 2. Humanities が66点, 3. Social Sciences が157点, Pure and Applied Sciences が969点, 合計1,339点であり、その各々のなかは誌名のアルファベット順に配列されている。記載事項は、誌名、創刊年、発行頻度、発行所、発行地、注記、所蔵館コードの順である。

各大学図書館よりの昭和48年1月末日現在のデータをコンピュータに入力し、ラインプリンター出力をそのまま写真製版したものであるので、少々活字が躍ったり、印刷が薄く、見にくい嫌があるが、求める periodical の二次資料が、何処の国立大学図書館にあるか（残念ながら所蔵の巻号は解らない）を知るのには便利な目録である。巻末に旧誌名索引を附し検索の便をも図っている。

## 本学教官著作寄贈図書

春日 和男（文学部教授）

存在詞に関する研究（春日 和男著）昭43 風間書房 ￥4,000

前川 俊一（文学部名誉教授）

前川俊一教授還暦記念論文集 昭43 英宝社 非売品

今井 源衛（文学部教授）

王朝文学の研究（今井 源衛著）昭45 角川書店 ￥3,800

川添 昭二（文学部助教授）

元寇防塁編年史料（注解一）（川添 昭二著）昭46 福岡市教育委員会 非売品

内藤 莞爾（文学部教授）

聖なるものの社会学（ロジェ・カイヨワ著 内藤莞爾訳）昭46 弘文堂 ￥680

西南九州の末子相続（内藤 莞爾著）昭46 塙書房 ￥2,000

平田 寛（文学部助教授）

国宝・富貴寺（大仏次郎・片山撰三・平田 寛）昭47 淡交社 ￥9,000

田村 円澄（文学部教授）

飛鳥仏教史研究（田村 円澄著）昭47 塙書房 ￥3,000

## 利用案内

### 教養部分館の利用について

九州大学附属図書館は、箱崎地区に中央図書館、堅粕地区に医学分館、六本松地区に教養部分館があります。

教養部分館は、旧制福岡高等学校の図書館と久留米工業専門学校の図書館が統合して、昭和34年に分館となり今日に至ったものです。そのために設備面においては決して快適な条件を備えた環境にあるとはいえませんが、所蔵図書も約15万冊を超え、開架図書および指定図書制度の充実など年々整備されてきていますので、みなさんの要望に対しては充分に応え得るものと思います。

以下、利用についての心得および方法を概略説明することにします。

#### 入館資格

本学の教職員および学生  
分館長がとくに許可した者

#### 開館時間

平日 午前9時～午後5時30分まで。  
土曜 午前9時～午後1時まで。

(ただし、休暇中および試験期の開館時間には変更があります)

#### 開架閲覧室

この室には、約1万冊の教養図書、指定図書、参考図書類が配架されています。とくに指定図書は、各教官が講義等に直接関連して、ぜひ読んでおくようにと学生に推薦されたもので、新しい教育手段として脚光を浴びています。教室内の講義等と教室外の自学自習とから成りたった大学教育において、教室外の自学自習を効率的に促進するためにも、学生諸君の活潑な利用が期待されています。

#### 雑誌閲覧室

約100種類の雑誌が配架してあり、自由に閲覧できます。なお、最新号以外の雑誌は一般図書と同様に帯出できます。

#### 新聞閲覧室

10数種類の新聞が備えてあり、書庫には朝日新聞の縮刷版も整備されていて、一般図書と同様に利用できます。

#### 帯出(貸出)

帯出を希望する学生は、まず利用者登録カードに所定事項を記載し、帯出券の交付を受けなければなりません。その際の手続きには学生証および印鑑が必要です。帯出券は1人につき3枚発行し、1枚で図書1冊を帯出することができます。

##### 書庫内図書の帯出

帯出日 毎日  
帯出冊数 2冊以内  
帯出期間 8日間

##### 開架閲覧室内図書の帯出

帯出日 火・木・土曜日  
帯出冊数 1冊  
帯出期間 3日間

帯出については、相互の利用を円滑にするため、とくに返却期限を厳守してください。もし返却の遅延があれば、図書の利用を一定期間停止することがありますので注意してください。

その他、詳細については「図書館利用案内」を参照するか、または、直接掛員にお尋ねください。

なお、図書館を利用する場合、大いに活用して頂きたいのは、学生用図書の購入希望制度と書庫内図書の検索制度です。希望図書については申し出があれば、重複していない限り購入に努力して図書資料の充実をはかっています。書庫内検索は、利用上の諸注意を守ったうえで書庫の中にはいり、自由に各自希望する図書を直接手にとって読むことができますので、この制度に慣れると、利用効果は一層大きくなるでしょう。

また、中央図書館、医学分館を利用したいときは、それぞれ希望の図書館で手続きをすませれば、自由に利用できますので、お知らせして置きます。

## レファレンス・コーナー (その29)

—中央図書館情報資料掛—

中央図書館の情報資料掛(電・5310・5317)では、利用者の方々から寄せられてくるいろいろな質問事項の調査を行なっていますが、ごく最近にあった質問のなかから幾つかを、ご参考のためにここへ挙げてみることにします。

**質問1** 西沙群島の主権をめぐる、中国と南ベトナムの間で紛争が起っているが、領有権に伴う領海の限界について知りたい。なお海洋開発に関して、国際間の協定があれば知りたい。

**回答例** 海洋開発事典(601/Ka21)で調査。巻末付録に「領海および接続水域に関する条約」がある。なおそのほかに「大陸棚に関する条約」「国連とその関係機関の海洋活動と組織」などもあり、近年急速に関心の高まってきた海洋開発に関する格好の手引き書となっている。

**質問2** 東京農大ワンダーフォーゲル部事件について知りたい。

**回答例** 体育・スポーツ指導実務必携・昭和47年版(780/Ta22)で調査。スポーツに関して起った主な事故の判例概要が幾つかあげてあり、その一つとして質問の事件の内容も知ることができる。なおこの図書は、体育・スポーツに関する正確な知識とその運用方法について理解を深めるのに役に立つ。

**質問3** “紙の博物館”について知りたい。

**回答例** 全国各種団体名鑑'70(061/Z3)で調査。東京都北区堀船1-1-8にあって、内外の製紙文献・標紙類を収集して広く一般に公開し、紙業の研究に資するために昭和25年6月に設立されたものである。事業内容、刊行物、その規模などについて知ることができる。なおこの名鑑には、各界の公益法人ならびに有力な任意団体などが広範囲に収録されていて、ほかにこの種の類書もなく好個の手引書となっている。

**質問4** 子供の頃の遊びに「あぶり出し」というものがあつた。白紙を火の上で焙ると、字や絵が黒く現れてくるもので、その製法を知りたい。

**回答例** 風俗辞典(366/フ/13)で調査。塩を水に溶かしたり、ミカンの絞り汁で書く。見た眼はなにも書かれていないようでも、火に焙ると書いてあつたものが

黒く浮き出してくる。中国から伝つたもので、すでに江戸時代の中期頃から子供たちの遊びとして親しまれていたらしい。

**質問5** 朝鮮民主主義人民共和国の憲法を知りたい。

**回答例** 韓国年鑑'73(059, 21/Ka56)で調査。正式には、朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法という。日本語訳が全文掲載されている。なお、同年鑑には、大韓民国憲法もあり、巻末には現代韓人名録も合わせて収録されていて両朝鮮の紹介にも詳しい。

**質問6** 観光ブームで海外旅行へ出かける者が年々増えている。また外国人の日本観光も年々盛んになりつつある。ごく最近の両者の動向を知りたい。

**回答例** 観光白書・昭和48年版(688/Ka56)で調査。「国際観光の状況」という項目があつて、最近5カ年間の海外旅行者数と来訪外客数の推移などを知ることができる。なおこの白書は、数ある白書のなかでも特色のあるもので、およそ観光に関することが種々の統計類をまじえながら網羅されている。

**質問7** 福岡・山口両県の護国神社について調べたい。

**回答例** 神社名鑑(175/シ/59)で調査。都道府県別に主な神社が紹介されていて、各神社の由緒沿革などを知ることができる。護国神社は、たいていの地区にあり、おおむね県名が神社名の頭に冠してある。たとえば、「福岡県護国神社」

**質問8** アメリカの大統領の選挙制度をできるだけ詳しく知りたい。

**回答例** 諸外国の選挙制度・昭和48年(314.89/J47)で調査。大統領の選挙制度に関しては、アメリカのほかに、フランス、西ドイツ、オーストリア、スイスがある。なお、この図書は、自治省選挙部が編纂したものである。世界の主要国(17カ国)の選挙制度がわかりやすく解説されている。

## ◆ 人事異動

## 附属図書館商議委員の異動

49. 2. 1 近藤 民雄(農)再任  
 “ 前川 一之(〃) ”

## 図書系職員の異動

49. 1. 2 中野 国治(医学分館目録掛長)死亡  
 49. 2. 1 西嶋 武(中央図書館整理課目録掛長)文学部図書掛長へ  
 “ 岡 博満(中央図書館整理課受入掛長)中央図書館整理課目録掛長へ  
 “ 朝倉 一(中央図書館閲覧課参考掛長)医学分館閲覧掛長へ  
 “ 福永 寿夫(医学分館閲覧掛長)医学分館目録掛長へ  
 “ 八尋 重久(文学部図書掛長)中央図書館整理課受入掛長へ  
 “ 久保 昭夫(産業労働研究所図書掛長)中央図書館閲覧課参考掛長へ  
 “ 河上 保(薬学部図書主任)産業労働研究所図書掛長へ  
 “ 中野 周行(応用力学研究所図書主任)薬学部図書主任へ  
 “ 伊藤 繁行(中央図書館閲覧課閲覧掛)応用力学研究所図書主任へ  
 49. 2.12 永井 謙(中央図書館閲覧課閲覧掛)採用  
 “ 藤原 愛子(中央図書館閲覧課参考掛)採用

## 目 録 49. 1. 21~2. 20

- |   |   |
|---|---|
| <p>1.21 創価大学山崎信孝教務部長来館。<br/>         1.24 館報編集委員会, 於小会議室。<br/>         1.25 福岡県大学図書館協議会福岡地区研究会, 於福岡教育大学附属図書館。<br/>         西嶋目録掛長, 花田目録掛員, 伊藤閲覧掛員出席。<br/>         1.28 琉球大学新城長有助教授(附属図書館図書委員)来館。<br/>         大阪大学附属図書館森目録掛員他2名来館。<br/>         1.29 広島大学附属図書館永野閲覧課長来館。<br/>         1.31 北九州市教育委員会磯田保参事(中央図書館開設準備担当)来館。<br/>         2. 1 京都大学阪倉篤義教授, 資料調査のため来館。</p> | <p>2. 4 学内図書系掛長研修会, 於小会議室。<br/>         時間外開館開始, 3月16日(土)まで。<br/>         文部省広島工事事務所福永係長他2名来館。<br/>         2. 6 島根大学附属図書館杉本日録係員来館。<br/>         2.13 京都大学人文科学研究所高橋利子図書掛員他1名来館。<br/>         2.18 図書館と文科系4掛長, 事務につき懇談会。<br/>         東北大学附属図書館長尾整理課長, 後藤会計掛長来館。<br/>         2.19 図書館短期大学服部金太郎教授来館。<br/>         農林省農林水産技術会議調査資料課中村千里課長補佐他1名来館。</p> |
|---|---|

## 訂 正

第9巻 第11, 12 合併号(前々号)に誤りがありましたので, 次のとおり訂正いたします。

巻頭文の表題

正

Librairie imaginaire

誤

Libraire imaginaire

編集委員 主査・東 米吉 委員・裴輪 武, 小野敏夫, 本多震一, 八尋重久, 岩井 護, 浅香雄一(中央図書館) 福永寿夫(医学分館) 堺 弘(教養部分館) 西嶋 武(文) 重松多喜造(理) 明石平次郎(工) 平川友視(農) 河上 保(産研)

九州大学附属図書館月報「図書館情報」Vol. 10, No. 2. 3 (通巻94号)

1974年3月25日発行・発行人 中村 謙

発行所 九州大学附属図書館・福岡市東区大字箱崎 3576・〒811②・電話代表(641) 1101 内線5301